鎌ケ谷市　事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要施策対象	うち多額の経費対象	①事務事業の概要 ②課題（目的に対する現状など）	24年度決算額[千円]	25年度決算額[千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予算額[千円]
1	一般	8	1	1	321安全でゆとりある道路の整備	用地事務に要する経費	道路河川整備課			①用地事務に係る参考図書の購入及び協議会負担金・研修費及び消耗品等の購入 ②損失補償基準の改正（毎年6月）及びその他の法改正に伴う補償基準の変化に迅速に対応しなければならない。	64	43	6精査・検証	①負担金等の経常的な経費ではあるが、更に精査・検証が必要である。 ②引き続き研修等への出席・参考図書の購入等により、担当職員のスキルアップを図る。	75
2	一般	8	2	1	321安全でゆとりある道路の整備	道路橋梁事務に要する経費	道路河川整備課			①主要市道整備事業、一般市道整備事業、私道整備事業等を遂行するための経費。 ②道路網の整備、生活道路の整備が追いついていない。	905	917	6精査・検証	①経常的な事務経費であるが、更なる精査・検証が必要。 ②補助金の導入を積極的に図るため、関係機関と連携を図る。	941
3	一般	8	2	3	321安全でゆとりある道路の整備	主要市道整備事業	道路河川整備課	○	○	①安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険箇所の線形改良、排水整備、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。 ②市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員や舗装構成になっていない。	18,659	94,901	7拡充	①市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、主要市道の整備は不可欠である。 ②事業費を拡大するため、国の交付金の導入を積極的に図る。	215,905
4	一般	8	2	3	321安全でゆとりある道路の整備	一般市道整備事業	道路河川整備課	○	○	①道路整備による地域環境の向上のため、道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。 ②道路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。	7,387	32,628	7拡充	①市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、一般市道の整備は不可欠である。 ②市民のニーズに対応すべく、道路整備の更なる拡大とコスト縮減のための整備手法の更なる検討。	45,364
5	一般	8	2	3	321安全でゆとりある道路の整備	私道整備事業	道路河川整備課	○	○	①道路整備による地域環境の向上のため、未舗装私道の舗装を推進し地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。 ②私道舗装整備要綱の要件の緩和が今後の検討課題となっている。	3,375	2,573	6精査・検証	①市道整備の要望が多数あり、私道整備と市道整備のバランスを取る必要があるため、現状を継続する。 ②市民のニーズに対応すべく、コスト縮減のための整備手法の更なる検討。	1,500
6	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	街路事務に要する経費	道路河川整備課			①都市計画道路整備事業及び連続立体交差事業を遂行するための経費。 ②機能的な道路ネットワークの構築が少ない。	4,272	1,576	6精査・検証	①経常的な事務経費であるが、更なる精査・検証が必要。 ②関係機関との連携を図り、街路事業を推進する。	2,347
7	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	道路河川整備課	○	○	①事業主体である千葉県に対し、地元負担金を支払う。事業延長280m、幅員18m。 ②県道船橋我孫子線（粟野十字路）との接続形状について県と協議する必要性がある。	14,313	10,005	7拡充	①機能的な道路ネットワークの構築や利用者の利便性・安全性の向上を図るべく道路の完成を目指す必要性がある。 ②事業主体である千葉県と連携を図るとともに、必要な財源の確保を図る。	3,000
8	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・3・16号新鎌ケ谷南線整備事業	道路河川整備課	○	○	①当該都市計画道路の整備により、新鎌ケ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。 ②新鎌ケ谷地区周辺には東西をアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。	—	2,998	7拡充	①新鎌ケ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要性がある。 ②事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。	3,000
9	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業（新鎌ケ谷）	道路河川整備課	○	○	①当該都市計画道路の整備により、新鎌ケ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。 ②新鎌ケ谷地区周辺には東西をアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。	—	2,998	7拡充	①新鎌ケ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要性がある。 ②事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。	3,000
10	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業（交差部）	道路河川整備課	○	○	①当該都市計画道路の整備により、新鎌ケ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。 ②新鎌ケ谷地区周辺には東西をアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。	—	2,998	7拡充	①新鎌ケ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要性がある。 ②事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。	3,000
11	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業（中沢）	道路河川整備課	○	○	①都市計画道路の計画変更に必要な概略設計を行い、その後、予備設計、測量を行う。 ②一級河川大柏川第二調節池整備事業との整備計画の整合を図ること。また、現道との接続方法を決定すること。	—	0	7拡充	①一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗状況と合わせ周辺の一体的な整備が必要である。 ②都市計画道路の計画変更に向けて関係機関と協議を行うとともに、予備設計、路線測量を行う。	25,500
12	一般	8	1	1	321安全でゆとりある道路の整備	道路管理に要する経費	道路河川管理課			①市道及び法定外公共物の財産、機能の適正な管理を行い、利用する人が安全、快適に通行できるようにする。 ②開発行為による道路の帰属等により、管理する道路が増加し、境界確定や維持管理といった管理業務も増えている。	22,033	23,633	6精査・検証	①道路台帳の電子化により、照会等の時間短縮が図れるようになったが、情報管理、整理及び維持管理を検討実施していく。 ②道路台帳電子情報の管理、整備及び追加情報の整備を行っていく。	22,165

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要施策対象	うち多額の経費対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決算額[千円]	25年度決算額[千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予算額[千円]
13	一般	8	2	2	321安全でゆとりある道路の整備	道路維持・補修事業	道路河川管理課	○	○	①市民要望や市内パトロール等により得た情報を元に、調査・検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。 ②市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。	137,248	268,715	6精査・検証	①法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。 ②法定点検に対応するしくみづくり。	205,015